

市通年予算決定

一般会計歳入歳出予算は、
211億4,810万円

国東市の平成19年度通年予算（年間予算）が、6月15日（金）から開催された第2回国東市議会定例会で審議され可決されました。

平成19年度の当初予算は、市長選挙がありましたので、一般会計は、いわゆる「骨格予算」として編成しました。そのため、予算の内容は、人件費・扶助費・公債費の義務的経費やこれに準ずる経常的な経費などが主なものとなっています。

しかしながら、このように経常経費を中心とした骨格予算にもかかわらず、公債費や扶助費、特別会計への繰出金などの増額により、約10億円もの基金の活用を余儀なくされています。極めて厳しい予算編成となっています。

この状況を打開するため、6月補正で、「肉付予算」として事実上の年間予算を編成するにあたり、昨年度策定しました「行財政集中改革プラン」を念頭に、既設の骨格予算も併せて、すべての歳入・歳出予算を厳しく見直しました。

